

受注企業動向調査結果

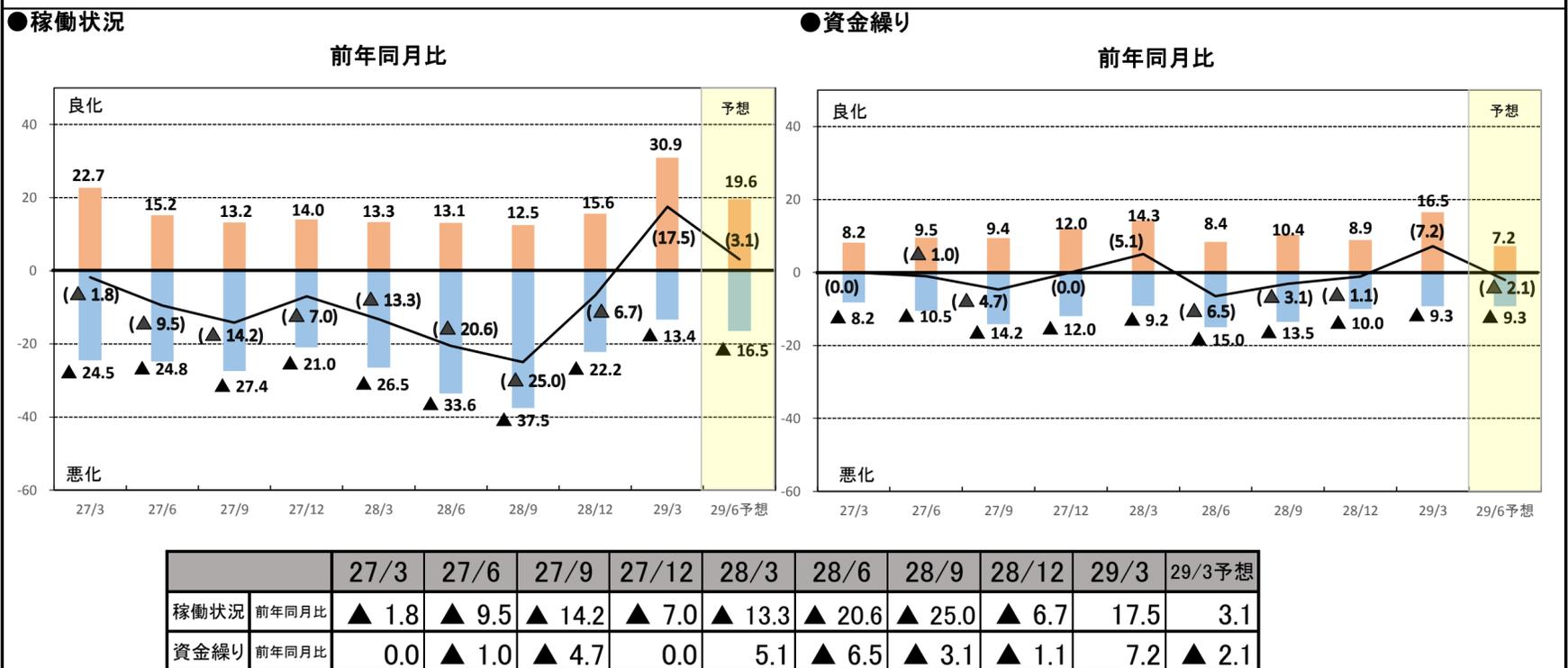
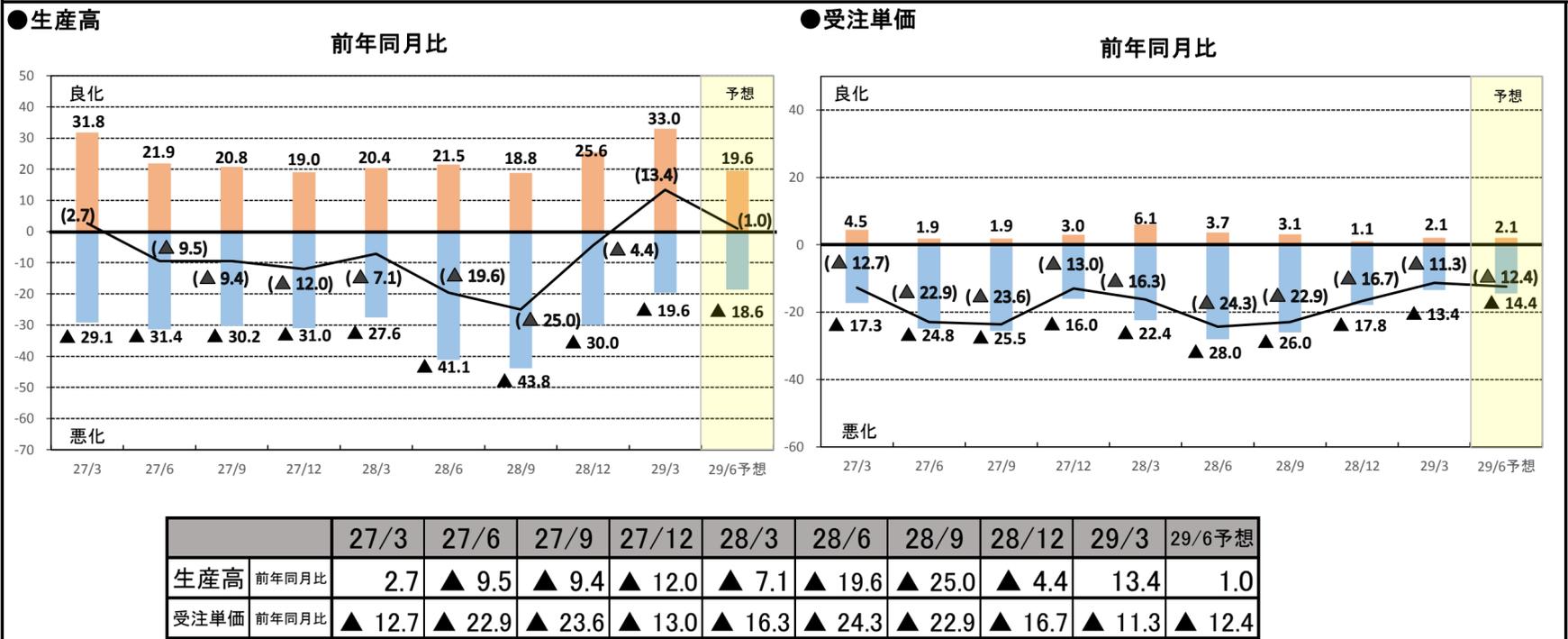
-2017.4-

- 調査時点 平成29年3月調査(平成29年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 97社(回答率:64.67%)

<業種内訳>

プラスチック	7社
鉄鋼・非鉄	10社
金属製品	20社
一般機械器具	23社
電気機器	16社
輸送用機器	5社
精密機器	9社
縫製	7社
計	97社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは13.4で前回の▲4.4から17.8ポイント増で大幅良化となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲11.3で前回の▲16.7から5.4ポイント増で良化となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは17.5で前回の▲6.7から24.2ポイント増の大幅良化となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは7.2で前回の▲1.1から8.3ポイント増で良化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が1.0で12.4ポイント減の大幅悪化、受注単価は▲12.4で1.1ポイント減で横ばい、稼働状況が3.1で14.4ポイント減の大幅悪化、資金繰りは▲2.1で9.3ポイント減で悪化という予想になった。
- ・引き続き円安傾向が続き、為替の影響を受ける企業が多く、回復傾向と答える企業が多い。一方、資材、仕入単価の上昇や人材不足など、今後を不安視する声が聞かれる。